

「全国防犯栄誉銀賞」・「茨城県地域安全ボランティア団体」表彰

地域の防犯に貢献

10月10日、第38回地域安全茨城県民大会において地域の防犯に長年貢献したとして、牛久市防犯連絡員協議会長小野寺治子氏が「全国防犯栄誉銀賞」を受賞し、また、向台自治会防犯・防火パトロール隊が「茨城県地域安全ボランティア団体」の表彰を受けました。



災害時における道路啓開のための車両等の移動に関する協定

災害時の道路で緊急車両を通行させるために

9月26日、牛久市は株式会社あきば商事および有限会社長浦自動車工業との間で「災害時における道路啓開のための車両等の移動に関する協定」締結しました。この協定により、震災・風水害その他の災害が発生した際、市内における緊急通行車両の通行を確保し、車両等の移動の災害応急対応が的確かつ円滑に行われるようになります。

あきば商事取締役社長の生嶋悟氏は「市民の安心・安全に協力したい」と話し、長浦自動車工業代表取締役長浦康平氏は「今回の協定で災害時、市民の安全確保に寄与できると思う」とコメントしました。



1 協定を交わす3者



2 左から、有限会社長浦自動車工業代表取締役長浦康平氏、根本洋治牛久市長、株式会社あきば商事取締役社長生嶋悟氏

寄付・寄贈

温かい善意ありがとうございます

●車いす5台を寄付

10月4日、国分建設と国分建設恵会が牛久市社会福祉協議会に車いす5台を寄付してくださいました。

この車いすは、市民の方へ短期間の貸し出しや、学校などの福祉体験で利用される予定です。

国分建設の辻英智代表取締役は、「これからも地域に貢献していきたい」と話していました。



●岡田地区スポーツ交流会

ゴルフ大会 チャリティー募金

岡田地区スポーツ交流会(田中隆之会長)では、地区住民の生涯健康と親睦を目指し、さまざまな事業を開催しています。9月に開催したゴルフ大会では、表彰式で福祉チャリティー募金を行いました。集まった寄付金15,482円は、田中会長より牛久市社会福祉協議会へ全額寄付をしていただきました。



●日本おどり座キッズ寄付

日本おどり座よろこび座キッズが、「平成25年度民謡民舞少年少女全国大会」優勝を記念して作成した腰紐の売上げの一部30,000円を牛久市社会福祉協議会へ寄付してくださいました。腰紐はお母さんたちの手作りで、発表会等で子どもたちが販売。家元の華扇かせんはさんは「今回の活動で子どもたちは福祉のしくみを肌で感じる事ができたと思う」と話しました。



今年100歳！まだまだ元気です

9月19日の敬老の日を前に、9月16日、根本市長が今年度100歳を迎える方を訪問し、褒状と祝い品を贈呈しました。

今年度牛久市で100歳を迎える方は14人。そのうち田宮町の伊藤ちよさんと、城中町の岡田已知さん宅を訪れました。

伊藤さんは、「95歳くらいまで畑をやっていて若いころからよく歩いた。今でも心肺機能が高い」とのこと。また、選挙にはかかさず行っており、「若いころは男に生まれていたら政治家になりたかった」とのこと。根本市長から「今からでもどうですか？」と誘われ、大きな笑顔を見せていました。

岡田さんは三度三度のごはんをしっかり食べ、ご飯は固めが好きとのこと。家でカラオケをしたり、漬物を漬けたりと毎日の生活を楽しんでいるとのことでした。

お二人とも市長から「魚と肉ではどっちが好き？」と尋ねられると、即座に「肉！」との答え。元気の秘訣はここにありそうです。



1・2 市長と話がはずむ伊藤さん(写真1)と岡田さん(写真2)

長年、子どもたちの情報教育を支援

市内小中学校の視聴覚・情報教育に貢献されたとして、林省三さんが(一財)日本視聴覚教育協会より表彰され、9月29日に市役所で伝達式が行われました。

林さんは平成14年から児童生徒へのコンピューターの操作や活用についての授業支援や学校ホームページによる情報発信支援を行うなど、情報教育サポーターとして現在もご活躍中です。

受賞に際し「子どもたちからもらった手紙は財産。これからも楽しくやっていきたい」と話されました。



オレンジの高校生たちが牛久の魅力を満喫

9月18日から10月7日までの間、姉妹都市オーストラリア・オレンジ市から、オレンジ高校とジェームズ・シーハン高校の生徒がそれぞれの日程で牛久市に滞在しました。姉妹校である牛久栄進高校と牛久高校の生徒との交流や文化体験、観光を通じて日本を満喫しました。



▲市長の英語スピーチに聞き入るオレンジ高校の生徒



▲談笑しながらのFM収録(オレンジ高校)



▲シャトーカミヤの伝統に見入るジェームズ・シーハン高校の生徒

消防団員が操法統一訓練

安全に消火活動を行うために

9月18日、牛久運動公園多目的広場で操法統一訓練が実施されました。牛久市の消防団員約200人が消防署の協力のもと訓練に参加し、迅速な消火活動が出来るよう、消火ホースの運搬、連結から放水、撤収まで一連の動作を確認しました。

消火ホースの担ぎ方一つを取っても、基本を怠れば怪我につながるため、細かい動作を再確認しながら行う今回の訓練は、団員の安全確保のうえでも重要な訓練です。当日は不安定な天候で、訓練の途中から雨となり濡れながらの訓練になりましたが、皆、熱心に取り組み、技術の向上に励みました。



青年海外協力隊

牛久から国際貢献へ出発

牛久市出身のJICAボランティア2人が、派遣前訓練を修了し、10月上旬の出発を前に、9月26日、市役所を訪問しました。石瑤樹さんはコスタリカの農業専門の高等専門学校に派遣され、野菜栽培についての指導を行う予定です。丸山奈菜さんはウズベキスタンの小児科病院に派遣され、白血病の子どもたちへの支援・教育活動を行う予定です。



(左から)丸山奈菜さん、滝本昌司副市長、石瑤樹さん

宝くじの社会貢献広報事業による助成
宝くじで地域コミュニティ活動を活性化

栄町行政区(田沼不二男区長)では、財団法人自治総合センターからコミュニティ助成事業で250万円の助成を受け、テントや物置を購入しました。同センターでは、宝くじの普及広報の一環として全国宝くじの売上金の一部を財源に、地域コミュニティ活動の健全な発展を図るための助成事業を実施しています。



助成を受けて購入したテント

秋の全国交通安全運動

「新米」の気持ちで安全運転を

9月21日～30日の「秋の全国交通安全運動」に合わせて、9月21日、ひたち野うしくエリアで、運転者や歩行者に新米などの啓発品を配布しながら、交通事故防止を呼びかけました。今回、牛久市長、牛久警察署長、牛久市交通安全母の会などの皆さんのほか、県立牛久栄進高等学校の生徒も参加しました。

根本市長は「牛久市は8月に交通死亡事故連続ゼロ500日を達成した。この記録がずっと続くよう交通事故をなくしたい」と語り、牛久市交通安全母の会の神戸礼子会長は「今回の啓発品のように『新米』の気持ちで、原点に返って運転しましょう」とあいさつしました。

参加した高校生は、「駅から学校まで自転車通学をしている。危ない目にあったことはないけれど、改めて通勤時間帯の車の様子を見て気を付けていこうと思った」と話していました。



- 1 誓いのことを宣誓する牛久栄進高校2年の菊池大介さん
- 2 市長と高校生による街頭キャンペーンの様子

楽しい体験から環境問題を学ぼう

イベントを通じて楽しく遊びながらエコについて学ぶことにより、地球環境や身の回りの環境の保全に向けた行動につなげることを目的とする「第9回うしくみらいエコフェスタ」が、10月16日に牛久運動公園で行われ、大勢の来場者でにぎわいました。

エコキャンドル、間伐材でコースター作りなどの体験をする親子や、エコをテーマにしたステージ発表を楽しむ人など、思い思いに「エコ」な一日を過ごしていました。



1



2



3



4

- 1 エコキャップ回収運動
- 2 牛久第一中学校の生徒による「牛乳パックから紙をつくろう」の体験ブース
- 3 根本市長、フルーツポンチのお二人、ラッシュ、うしくみらいエコフェスタ長野元樹実行委員長との写真撮影
- 4 USHIQUEST (ウシクエスト) と題したスタンプラリー。占い師の説明(写真)から始まり、魔王の城まで行くなど工夫を凝らした内容で子どもたちに大好評でした

ビエンナーレうしく特別回顧展 ビエンナーレうしく 10年の歩み

ビエンナーレうしくは、2年ごとに未発表の優れた絵画作品を全国から募り、公開審査により入賞、入選作品を選出するもので今年10周年を迎えました。今回は、これまでの大賞・優秀賞の作品と、それぞれの作家の近作の総計20点を展示する特別回顧展を、9月18日から10月2日の間シャトーカミヤで開催しました。

初日の9月18日にはオープニングイベントの一環で受賞作家によるギャラリートークを行いました。



第1回展大賞 福村真美さんによるギャラリートーク。「若いころに描いて、粗々しい部分もあるけれど、色合いなど今見てもすてき」と話していました

牛久・岡田・奥野の各地区で市民体育祭

大人から子どもまで、スポーツで市民が交流

10月10日体育の日に、牛久・岡田・奥野の各地区で市民体育祭が開催されました。今年も恒例の「順送球」が全地区で行われました。チームワークと速さが問われるこの競技、各行政区男女混合チームでヘルシーボールを前から後ろへ順に送り、熱戦を繰り広げました。そのほかにも各地区で独自の競技が行われ、大人から子どもまで参加しました。会場は声援で溢れ、参加者たちはスポーツを通して交流を深めた一日となりました。



▲全地区で毎年恒例の順送球(写真は岡田地区)



▲ボールコントロールリレー(奥野地区)



▲カード合わせ(牛久地区)



▲パン食い共走(岡田地区)

大好評！牛久産ワイン「レガーム2016」発売

今年も「LEGAME」発売！妹分もWで販売です！



11/4^金 販売開始!
◆販売所 うしくグリーンファーム(株)／天満屋酒店／(有)松蔵屋／リカー&ギフトタマノ／(株)イケノベ／南部珈琲

- 1 牛久産ぶどう「富士の夢」
- 2・3 レガーム(写真2)と、うしくグレープ(写真3)

今年も牛久産ぶどう100%のワインがうしくグリーンファーム株式会社で今月から販売予定です。

今年で3年目になるこの「LEGAME」。牛久産のぶどう「富士の夢」を100%使い、ライトボディのすっきりとした後味が特長で、紫がかったきれいな色の赤ワインです。

昨年の1,500本は完売。今年は1,000本を販売予定で、価格は1本2,000円(税込)です。

また、今年初めてLEGAMEの妹分のぶどうジュース「USHIKU GRAPE」も販売します。こちらは、300本限定で価格は1ℓで800円(税込)です。とても甘くてちょっぴり酸っぱい、山ぶどう交配品種ならではの濃厚な味わいに仕上がりました。ご家族みんなで楽しめるので、ご贈答にも最適です。

どちらも数量限定のため、お買い求めはお早めに。牛久の恵みがぎゅぎゅっと詰まったワインとジュースをぜひご賞味ください。

◆お問い合わせ先 うしくグリーンファーム株式会社 ☎875-1333(久野町1496-1)

2016 11月1日号
平成28年11月1日発行

発行・編集 牛久市市民活動課
〒300-1292 茨城県牛久市中央3丁目15番地1

TEL 029-873-2111
HP http://www.city.ushiku.lg.jp/
FAX 029-873-2512

今月の
たいへんよくできました
ふたばランド保育園

ぞうグループ

ふたばランド保育園のお友だちは筑波山の登山に挑戦。手作りのマップを持ち、どこを歩いているのかみんなで話しながら一歩一歩自分の足で登りました。子どもたちは眼下に広がる景色にもびっくり。「すごくきれいだったよ」と話してくれました。その後、お家の人が作ってくれたおにぎりを食べました。がんばった後のおにぎりの味は格別だったようです。登山の感想を尋ねると「楽しかった！また行きたいです！」と自信たっぷりに答えてくれました。

▶ 全身を使ってがんばって登山をしました